

2026 年度大学院人文学研究科臨床心理学専攻

一般 1 期試験 (2025 年 9 月 5 日)

英 語

時間 : 10 : 00 ~ 11 : 00

\* 英和・和英辞典持込可 (電子辞書不可) \*

問題 以下の英文を全文和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権上の問題から公表することができません。

出典 Butler, G. and McManus, F. (2000). PSYCHOLOGY A very Short Introduction.  
OXFORD University Press Inc. New York. (pp. 84 – 85).

以上

# 2026 年度大学院人文学研究科臨床心理学専攻

一般 1 期試験 (2025 年 9 月 5 日)

専 門

時間 : 11 : 20 ~ 12 : 20

大問 1 以下の問いに答えなさい。(各 20 点)

- (1) うつになりやすい人が持つ認知の特徴とはどのようなものか、説明しなさい
- (2) 心理支援で用いられるスクイグル法について説明しなさい

大問 2 以下の心理学用語について説明しなさい。(各 10 点)

- (1) 尺度の信頼性・妥当性
- (2) 精緻化リハーサル
- (3) 社会的アイデンティティ
- (4) 心の理論
- (5) 外在化
- (6) 特別支援教育

大問3 以下の問題に答えなさい。(各5点)

問1 次の検定法のうちノンパラメトリック検定に該当するものをすべて選びなさい。

- 1 分散分析
- 2 カイ二乗検定
- 3 ウェルチの検定
- 4 重回帰分析
- 5 因子分析

問2 戦災孤児への福祉対策としてできた法律を一つ選びなさい。

- 1 児童虐待防止法
- 2 生活保護法
- 3 児童福祉法
- 4 身体障害福祉法
- 5 介護保険法

問3 少年非行への対応で正しいものを一つ選びなさい。

- 1 13歳以上はすべて家庭裁判所へ送致
- 2 15歳以上はすべて少年院送致
- 3 14歳未満はすべて児童相談所に送致
- 4 13歳以下はすべて児童自立支援施設送致
- 5 18歳以上はすべて検察官送致

問4 現時点でストレスチェックが義務付けられている事業所の労働者数を選びなさい。

- 1 10人以上
- 2 30人以上
- 3 50人以上
- 4 制限はない

問5 視覚情報が最初に到達する大脳皮質の部位として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 側頭葉
- 2 頭頂葉
- 3 前頭葉
- 4 後頭葉
- 5 扁桃体

問6 普通教育に適する子どもとそうでない子どもを見分けるための検査法を最初に開発した人物は誰か、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 A. Binet
- 2 D. Wechsler
- 3 E. Kraepelin
- 4 F. Galton
- 5 J. Piaget

問7 ライフサイクルと心の健康の関わりについて、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 人の心身の発達は、成人期でピークになると考えられている
- 2 女性の更年期障害は、閉経後に様々な身体症状や精神症状を来す病態である
- 3 青年期は、統合失調症、うつ病、社交不安症などの精神疾患の発症が増える時期である
- 4 各ライフサイクルにおいて対応を要する問題は、疾患の種類にはよらず年齢によって決まる
- 5 認知症は老年期に発症する病気であるため、成人期における認知機能の低下の原因としては別の疾患を考える

問 8 統計に関する説明として、不適切なものをすべて選びなさい。

- 1 統計的検定では、検定統計量が特定の確率分布にしたがっていることを利用する。t 検定ではスチューデントの t 分布、分散分析では正規分布を利用する
- 2 統計的仮説検定における第二種の過誤とは、対立仮説が正しいにもかかわらずそれを採択しない誤りである
- 3 2つの条件平均値について対応のある t 検定を行うとする。検定の結果算出された p 値は値が小さいほど条件平均値の違いが大きいことを意味している
- 4 直線回帰分析で算出される R<sup>2</sup> は決定係数とも呼ばれ、予測式の当てはまりの良さを表す指標である

問 9 以下の 5 つのうち、正しいものをすべて選びなさい。

- 1 Spearman, C. E. は知能の多因子説を提唱した
- 2 Thurston, L. L. は知能の 2 因子説を提唱した
- 3 Cattell & Horn は上位 2 因子を仮定した階層群因子モデルを提唱した
- 4 Guilford, J. P. は多重知能を提唱した
- 5 Gardner, H. は 120 因子で構成される立体知能構造を提唱した

問 10 発達障害に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×を付けた場合、選択肢 1～4 の組み合わせの中から正しいものを一つ選びなさい。

- A 発達障害は、全般的な知的障害を伴わないものもある
- B 発達障害児の将来には、周りの理解の在り方が大きな影響を及ぼす
- C 発達障害は大人になると改善するものである
- D 特別支援教育は、相応の学級で専門の教師によりのみなされるべきである
- E 自閉症スペクトラム障害では、相手の心を理解することが難しい

1 A × B × C ○ D ○ E ○

2 A ○ B ○ C × D × E ○

3 A ○ B × C ○ D × E ○

4 A ○ B ○ C × D ○ E ×

以上